

活動名	団体名	太田川アクティブアーチ実行委員会
	地域	広島県山県郡
	代表者	代表 林 俊一
	支援金額	35万円
太田川アクティブアーチ ワークショップ体験		
活動概要		
<p>団体の沿革：(設立年、組織、構成人員等)</p> <p>【経緯】</p> <p>2004年 「太田川クラフトフェスタ」太田川上流域の工房4ヶ所でスタート。(同日開催)</p> <p>2005年 安芸太田町 川・森・文化・交流センターが主会場となり毎年開催。以後 広島市内や北広島町を含めて広域に展開。(5～12月)</p> <p>2007年 広島市内のギャラリーと温井ダムをつないだ企画展。2009年 太田川流域に眠る「たたら製鉄」の紹介をスタート。</p> <p>2011年 主催組織名の改革「太田川クラフトフェスタ」⇒「太田川アクティブアーチ」</p> <p>クラフトフェスタの主会場を広島市佐伯区の湯来交流体験センターに移し、子供向けワークショップを拡充。</p> <p>太田川流域のたたら製鉄をテーマにしたツーリズム&ワークショップを広域連携によって実施。</p> <p>【組織】 「太田川クラフトフェスタ実行委員会」</p> <p>「三段峡たたらツーリズム宣言実行委員会」</p> <p>実行委員7名 協力者および出展者50名 来場者約2,100名</p> <p>協賛企業3社、後援 広島市 安芸太田町 北広島町 他</p> <p>【運営】 イベントごとに実行委員会をたちあげ、柔軟な運営を方針としている。複数のブログを使つての情報発信。</p> <p>◆実施時期 2011年度</p> <p>【三段峡たたらツーリズム宣言】6月3・4・5日 三段峡周辺</p> <p>【太田川クラフトフェスタVOL・7】6月10・11・12日 湯来交流体験センター</p> <p>【たたら森の仲間たち～夏休み子供企画】7月24日～8月14日 風炎窯</p> <p>【たたら森の仲間たち～トライアルツアー】11月9・10日 吉水園、木炭車の館、温井ダム、奥滝山峡、大暮、三段峡など</p> <p>【たたら森の仲間たち～木炭車の館】11月12・13日 木炭車の館</p> <p>◆参加人数</p> <p>【三段峡たたらツーリズム宣言】参加40名 来場80名</p> <p>【太田川クラフトフェスタVOL・7】参加40名 来場1,500名</p> <p>【たたら森の仲間たち～夏休み子供企画】参加17名</p> <p>【たたら森の仲間たち～トライアルツアー】参加6名</p> <p>【たたら森の仲間たち～木炭車の館】参加3名 来場500名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員：2,156名</p>		



たたら森の仲間たち～トライアルツアー
山県製鉄所大暮工場跡にて



太田川流域のたたら製鉄が気付かせてくれるサステイナブルストーリー「たたら森の仲間たち♪」



三段峡たたらツーリズム宣言にて



太田川クラフトフェスタVOL・7にて

◆実施に伴う効果

【三段峡たたらツーリズム宣言】

イベントが終わったのち、広島県が来年度から推進する教育旅行の誘致に向けて、関係者の視察を受けました。また安芸太田町が推進するヘルスツーリズムにおいて、地域文化プログラムとしての可能性を探っています。またワークショップに参加した大学生が、就職先として廃業中の加計の鍛冶屋館を希望し、町行政と調整中。森林共生と平和教育と製鉄をつなげることで、新たなツーリズムが展開できる理念が生まれた。

結果をもとに、たたら製鉄を実施している工業高校やモノづくり企業の方々とお話しさせていただく機会が生まれ、新日鉄八幡からは「三段峡たたらの森」への視察依頼があります。

【太田川クラフトフェスタ VOL.7】

今回から会場を移動しました。

施設が新しく運営も不慣れで、広島市の査察も重なり、指定管理者が大変心配をされました。

結果として何のトラブルもなく、おおむね子供向けワークショップも好評であり、

今後に向けて明るい状況。

【たたらの森の仲間たち～夏休み子供企画】

参加者は少なかったのですが、皆さん半日は子供を川で遊ばせながら参加されましたので、湯来交流体験センターの協力で、次回はまた違ったアピールができそうです。

また大和ミュージアムと三段峡を高速道路でつないだ子供向けトライアルツアーを画策中。

【たたらの森の仲間たち～トライアルツアー】

たたら製鉄をテーマとした周遊コースを設定し、福岡勤労山岳会のメンバーと実施。

外部からの指摘や感想をいただき、次回は内容やコースをブラッシュアップします。

来年、6月と11月には再度トライアルいたします。

予算があれば、講師として産業ツーリズムのガイドの方々、企業や学校の教育現場の方々に、参加依頼できる状況になっています。

【たたらの森の仲間たち～木炭車の館】

廃校を利用した施設を始めて利用しました。木炭車の有効利用として産業&エネルギーの教育体験プログラムの可能性が生まれた。

たたら製鉄や筑豊石炭の資料、パネル、紙芝居を整えましたので、今後は水素などの資料を整えれば、魅力的なプログラムが作れます。

綺麗な教室ではないのですがレトロ感があり、都市住民には好評であり、

吉水園(鉄山師の庭園)に隣接しているところも、たたら製鉄でつながる要素がある。

本年度は、本当にたくさんの方々の協力をいただき、たくさんネットワークが生まれたというのが率直な感想です

◆苦勞した点

【予算】

本年度は有難いことに、結果として3カ所の財団からの助成をいただき、大きな成果が残せたと自負しています。しかし、今後に向けて何か生まれそうな状況下であっても、安定した資金はありません。各方面に協力を打診していますが、大きな変化は生まれていません。今しばらく助成金や協賛金に頼りながら、それに見合った活動を継続してゆきます。任意団体のほうが動き易いというメリットもありますので考えどころです。

【外部へのPR】

広島市広報誌、中国新聞、タウン誌、オリコミ、ブログ等、努力していますが、現在の所、来場者アンケートから収集した個人情報に向けて2,000通のDM郵送、各方面に向けてのチラシ配布が主要な広報ツールとなっています。

【参加者】

たたら製鉄はマニアックなところもあり、ツーリズムの形態がテラーメイド化する傾向の中で、どのような集客のあり方が良いのか悩むところです。

太田川クラフトフェスタは、参加者、来場者ともに安定しており、無理の無い運営を継続中。

夏休み子供企画の参加が少ないところ。

【地域の理解】

高齢化や人口減少や不景気で、地域があまりにも疲弊している。

太田川流域のたたら製鉄については、あまり一般に認知されていないが、眠っている歴史的事実があまりに大きい。

反面、感心を示された方々の驚きは大きい。

町行政に賛同者が結構いますが、合併後の裏事情で、動きにくい状況がある。

◆今後の課題・発展の方向性

たたら操業のワークショップは、毎年開催するには歴史村の負担が大きく、数年おきに協力いただく予定です。また地域住民の中から実施する機運を待ちたいところ。次年度に向けて、生まれたネットワークをさらに広げ継続するために、広域的なフォトコンテスト&スタンプラリーを実施します。三段峡たたらツーリズム宣言の理念を各方面にPRするのが一番の目的です。さらに、成果としての写真を、紙芝居やポストカードに活用し、ツーリズムガイドのツールとして利用したいところ。また、専門家を招聘したトライアルツアーを実施し、広島県主導の教育旅行の誘致、安芸太田町主導のヘルスツーリズムのお役に立てればと思います。現在、協議会に参加しています。

◆活動を終えての感想・意見等

楽しさと苦しさが同居した運営ですが、眠っている大きな宝を発信するのが使命。